

令和6年度 横浜翠嵐高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果	達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員啓発資料等をもとに職場研修を実施し、教育公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上、法令順守等について徹底した。 ○ 職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にした職場環境づくりを進めた。 	○
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	他者の人権を尊重し、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントを防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員啓発資料等を参考にし、ハラスメントに関する理解を深めるとともに 人権意識の向上を図った。 	○
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の人権についての職場研修を実施して意識啓発を行うとともに、ささいな問題でも指摘し合える職場環境づくりを進めた。 ○ 県教育委員会作成の性暴力に係る動画をすべての職員が視聴し、わいせつ事案防止に係る意識啓発を行った。 ○ 電子メール・SNSの適切な使用について職員間だけでなく、生徒に対しても意識啓発を行った。 	○
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に係わる不祥事防止を周知するとともに職員の意識の向上を図った。 ○ 生徒理解に基づく指導を徹底した。 	○
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	取組みの重点目標を「入学者選抜・成績処理業務の適切な処理」とし、実効性のある点検体制を再構築し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに出願システムが導入されることから、職員全員で点検体制や業務マニュアルを再確認し、入選業務に関する職員の共通理解を徹底した。 ○ 複数人による点検を徹底させ、ミスの事前発見に努めた。 ○ 保存すべき文書の保管場所・保管期間について周知徹底し、適切に行った。 ○ 気にかかることをそのままにせず、「報告・連絡・相談」を適切に行った。 	○
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流失を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報セキュリティの点検を実施し、職員の意識の向上を図った。 ○ 個人情報の取扱いに係る意識啓発を行い、校外の持ち出しの際の手続き、定期試験の期間中はシュレッダーの使用に規制をかけ、重要情報の記載された資料の誤廃棄に努めた。 	○
会計事務等の適正執行	公費は神奈川県財務規則、私費は私費会計基準に則った適正な会計事務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公費・私費の適正管理に努め、相互チェック体制を徹底した。 ○ 私費会計基準に基づいた適正な会計処理を行った。 	○

※ 達成状況 達成できた…○ 一部達成できた…△ 達成できていない…×

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和6年度の不祥事防止に係る組織的な取組により、本校では不祥事ゼロを達成できた。一方で、職員による不祥事については、県民からの厳しい目が向けられていることを職員全体で共有し、引き続き、不祥事防止研修会の実施はもとより、日々の業務の中で自己点検や意識啓発を図りながら不祥事の未然防止を目指したい。とりわけ、不祥事を他人事にしないためにも、職員から不祥事防止につなげる新たな取組について発信ができるように働きかけていきたい。